

本大会運営規程（案）

【競技上の注意】

1. 1日目の進行は、男子4回戦(試合番号236)、女子3回戦(試合番号541)までを行う。ただし、最終コールは、18：00を予定する。消化できなかった試合は2日目に行う。
2. 那覇市民体育館はサブアリーナを使用しない。西崎総合体育館はサブアリーナを使用しないが、進行状況によっては使用する場合がある。
3. 運営進行上ベスト16決定まで11点3ゲームマッチ(2ゲーム先取)で、14対14点になった場合は、2点差がつくまで行い上限を15点とする。その後、決勝までは正式ルールで行い、20対20になった場合は、2点差がつくまで行い上限を30点とする。
4. 2日目は、男女ともに、残り試合～決勝及び表彰閉会式を行う。
5. インターバルは、21点3ゲームマッチの場合は11点で1分以内、ゲーム間は2分以内で行い、11点制のときは、ゲーム間のみ2分以内（3ゲーム目では、どちらかが6点をとった時には1分以内でチェンジエンド）とする。
6. 連続試合は10分以上の間隔を空ける。
7. 主審は敗者審判とする。審判用紙は本部から各コートへ届けるので、敗者は自分が試合をしたコートで待機しておくこと。線審及び得点係は各対戦校から1名ずつ出すこと。
8. 試合中の汗拭きは、原則としてインターバル時に認める。
9. 水分補給も、原則としてインターバル時に認める。ただし、スクイズボトル等（ペットボトル不可）を使用すること。
10. ベンチ入りは、選手・監督・コーチまたはマネージャーとする。コーチは教員又は県中体連の登録者とする。これ以外の者の1階メインアリーナでの応援を禁止する。
11. 監督、コーチまたはマネージャー席を設ける。チェンジエンドの際、監督、コーチまたはマネージャーは移動すること。
12. ゲーム中の監督、コーチのアドバイスをラリー中でなければ認める。ただし、試合の遅延行為にならないようにすること。また、相手選手が萎縮するようなアドバイスであってはいけない。選手はアドバイスすることができない。
13. インターバル時には、アドバイスを受けることができる。ただし、ゲーム間及び3ゲーム目の11点でのアドバイスはチェンジエンドをしてから受けること。
14. インプレイ中の応援はベンチ・応援団とも認めない。
15. 朝のメインアリーナ及びサブアリーナでの練習は認めない。
16. 試合のコール後、3分以内にコートに入らない場合は、棄権と見なすこともある。
17. 競技ウエアーは、日本バドミントン協会審査合格品（ハーフパンツ着用の場合は膝にかかからないもの）とする。
18. アンダーウエア、スパッツ等はゲームシャツ、ズボン及びスコートからはみ出さないように着けること。
19. ソックスについては、くるぶしが隠れるものを履くこと。
20. はちまき、ヘアバンド、リストバンド、サポーター、テーピングは認めるが、ブレスレット、ネックレス等の装飾品（スポーツ用品等も含む）及び、マスコット等を身につけてのプレーは認めない。
21. 中学生としてふさわしくない身なり（まゆ等）・服装及び不品行な行為をしたものは、専門部で協議の上、没収試合とすることもある。
22. 監督、コーチ、マネージャーがコーチングシートに入る時の服装はマッチ（試合）にふさわしい服装で臨むこと。ベンチ内でのモバイル機器の使用禁止。ポータブル扇風機等の持ち込み禁止。

【体育館使用上の注意】

1. 事故防止及び試合進行をスムーズに行うため、アリーナ及び通路、玄関ロビー、空きコートでの練習は認めない。
2. 体育館シューズで外に出ないこと。
3. 昼食時間は設けないので、各自試合の進行をみながら取ること。
4. ゴミは必ず持ち帰りください。
5. 応援席での飲み物、食べ物の片づけを徹底すること。（こぼしたもののふき取りなど）
6. 貴重品やラケット等のバドミントン用品の管理は各学校及び、各自で徹底してください。
7. **那覇市民体育館のみクレーンを使用する。※女子は1人あたり300円、男子は2日目に残った選手1人あたり100円を徴収する。**

【その他】

1. 各部の男女上位4名に賞状を授与する。
2. 男女上位8名の選手に、10月に実施する沖縄県個人戦大会シングルス部の出場権を与える。
※1年生で県個人戦大会ダブルスの部へ出場できる選手は、各地区ダブルス大会のベスト8以内の選手とする。
3. 沖縄県強化選手及び沖縄県選抜チーム（選抜選手）には、男女ベスト4以内の選手及び県中学校指導部から推薦される選手（ベスト4と同等と認められる選手）を候補の対象とする。
4. 訂正等があれば、「沖縄県バドミントン協会HP」にて、掲載し告知する。